

# 衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 25. 4. 19 第 183 回国会第 4 号

4 月 19 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 田中原子力規制委員会委員長から発言がありました。

## 2 原子力問題に関する件

- ・赤羽経済産業副大臣、義家文部科学大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長、政府参考人及び鬼塚衆議院事務総長並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社代表執行役社長 廣瀬直己君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 鈴木馨祐君（自民）

- ・原子力規制委員会の設置以前の原子力規制行政が抱えていた問題点について、田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）の所見を伺いたい。
- ・原子力規制委員会が第 3 条機関としての独立性を保ちつつも、孤立せず関係事業者と適正でバランスのとれたコミュニケーションを図っていくことが重要であると考え、田中委員長の所見を伺いたい。
- ・原子力規制委員会の事務局である原子力規制庁の専門性向上のための人材の確保及び職員の育成に要する期間について、田中委員長の所見を伺いたい。

### 江田康幸君（公明）

- ・東京電力福島第一原子力発電所事故（以下「福島第一原発事故」という。）の原因分析や国際的な原子力規制の現状を踏まえ、原発の新規制基準の策定にどのような基本方針で臨むのか、田中委員長の所見を伺いたい。
- ・原子力発電所の安全確保の一義的責任を有する電力会社として、東京電力は原発の新規制基準を遵守することは当然としてそれ以上の自主的な安全対策を講じなければ国民からの信頼回復はありえないと考えるが、廣瀬東京電力社長（以下「廣瀬社長」という。）の所見を伺いたい。

### 荒井聰君（民主）

- ・田中委員長が目指す世界最高水準の新規制基準とは具体的にどのようなものか、同委員長に伺いたい。
- ・福島第一原発事故の教訓を踏まえ、原発の立地や再稼働の前提として、住民避難計画の策定や避難道路の確保等が必要と考えるが、田中委員長の見解を伺いたい。
- ・我が国で初めて立法府に設置された独立調査委員会

ある国会事故調の設置に当たっての人員や予算面等での課題について、鬼塚衆議院事務総長に伺いたい。

### 足立康史君（維新）

- ・福島第一原発事故の放射能汚染水問題について、東京電力は最悪の場合には同汚染水を海へ放出する事態を想定しているのか、また、東京電力における汚染水のトリチウムの除去対策について、廣瀬社長に伺いたい。
- ・福島第一原発の廃炉を一民間事業者である東京電力だけにやらせるのは無理があり、国が世界の英知を結集しつつ一義的責任をもって取り組むべきと考えるが、経済産業省の見解を伺いたい。
- ・今年 7 月施行予定の新規制基準は、I A E A 等の国際基準を満しているか、国会事故調報告書を反映したもののか、我が国が地震国であることを勘案したもののか、田中委員長に伺いたい。

### 椎名毅君（みんな）

- ・福島第一原発 4 号機建屋内のプールから燃料集合体をクレーン等で地上に下ろす作業の際に、地震、津波、停電等が発生する可能性がある。これらの際の対応策の検討状況について廣瀬社長に、安全な手段の確保について田中委員長に、作業スケジュールの管理について経済産業省に、それぞれ伺いたい。
- ・福島第一原発において増え続ける汚染水について、東京電力が対応策としている井戸の設置が、本当に効果的かつ抜本的な解決策と考えているのか、田中委員長に伺いたい。

### 笠井亮君（共産）

- ・原子力規制委員会が本 19 日から開始する関西電力大飯発電所 3・4 号機の現状評価について、何を対象として、どういう判断基準で行うのか、田中委員長に伺いたい。
- ・田中委員長は、去る 17 日の記者会見で「大飯が別扱いだというのは誤解である」旨の発言をしたが、大飯原発の取扱いとは他の原発と明らかに違っているのではないか。この大飯原発の評価基準と現在策定中の新規制基準は完全に同じ内容なのか、同委員長に伺いたい。

### **小宮山 泰 子君（生活）**

- ・原子力発電や放射線等に関する今後の学校教育の方針と国民への正しい情報提供の在り方、原子力発電の安全神話が形成された経緯とその反省について、文部科学省に伺いたい。
- ・放射線防護や被ばく医療に関する正確な情報提供の取組方針について、原子力規制庁、経済産業省及び環境省に伺いたい。